



令和4年度教育課程の編成に向けて

校長 佐伯 英徳

先月の学校だより（第11号）でもお伝え致しましたが、現在、学校評価アンケート及び学校関係者評価の結果等に基づき、今年度の教育活動の成果と課題を明確にした上で改善策を練り、令和4年度の教育課程の編成に取り組んでおります。

【教育目標】 人権尊重の精神を基盤とし、知性、感性、道徳心や体力等の調和のとれた人間性豊かで、持続可能な社会の創り手となる生徒の育成を図るために、次の教育目標を設定する。

- 1 自立「すすんで学び、考える力をつけよう」
⇒【主体的態度、主体的思考力、課題発見・解決能力】
- 2 連帯「力を合わせ、みんなのためにつくそう」
⇒【人間関係形成力】
- 3 健全「規律を重んじ、心身をきたえよう」
⇒【自己実現力、実践力】

まずは、上記の教育目標を達成するために、社会と連携及び協働しながら新しい時代に求められる3つの資質・能力を育むための基本方針を掲げます。その上で、指導の重点として、「各教科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動」、「特別支援教育」、「特色ある教育活動」、「生活指導・進路指導」のそれぞれに関する具体的な方策を立てていきます。

令和4年度の重点といたしましては、◆すべての教科において「育成したい力」を明確にした授業展開による「主体的・対話的で深い学び」の推進 ◆タブレットPC等を効果的に利用した個別最適な学びの実現及び家庭学習の支援 ◆「中学校英語スピーキングテスト」に向けた「聞く」「話す」指導の充実 ◆男女共修を基本とした体力の向上及び主体的に運動に取り組む態度の育成 ◆「考える道徳」「議論する道徳」の授業改善・充実 ◆いじめや不登校問題の未然防止・早期発見・早期対応 ◆ESDカレンダーの策定 ◆「四中ゾーン学校運営協議会（コミュニティスクール）」の設置等について、追加・変更・充実してまいります。

年間行事の予定につきましては、今後のコロナ禍の状況が不透明であります。子どもたちの健やかな学びの保障」を目指して行事の内容や実施時期等を総合的に判断し、精選すべき点は精選していくとともに、全体的なバランスを考慮しながら、よりよい学校行事の実施を目指します。

令和3年度も3月を残すだけとなりました。1、2年生にとっては進級に向けた準備、3年生にとっては義務教育最後の1ヶ月です。すべての子どもたちが悔いを残さぬよう、一日一日を大切に過ごしてくれることを心から願っております。引き続き、保護者・地域の皆様のご理解ご協力をいただきますようお願い申し上げます。